

主に夏休みにあった進路に関する様々な取り組みや情報をお伝えします。

2学期の進路関係の行事予定

月	高等部	中学部	幼小学部
9月	・採用試験（高3） ・就労応援団とやま 学校見学会 ・就労支援セミナー（労働局主催 高2生徒と高2保護者 対象）	・学習体験会 ・職場体験（中2）	・学習体験会
11月	・就業体験（高1-2, 2-1, 2-2, 3-2）		
12月	・先輩に学ぶ（中高生徒、全保護者対象）		
	・就業体験（高2-3）		・保護者懇談会
	・進路希望調査、保護者懇談会（進路相談）		
1月	・就業体験（高3-2 必要に応じて）		
2月	・移行支援連絡会（高3）	・願書提出（中3）	
3月	・高校生就職ガイダンス（労働局 高2）	・入学検査（中3）	

太字は保護者の方が参加できる行事です。ぜひご参加ください。

高等部 就業体験

夏休みに、高等部1-1, 2-3の生徒2名が、県内の企業で就業体験を行いました。保護者の皆様には、体験の準備をはじめ、毎日の日誌の記入等ありがとうございました。ご協力いただいた事業所と生徒たちの評価を紹介します。評価については、今後の指導に生かしていきたいと思っております。

★ご協力いただいた企業★

一般事業所

- ・株式会社 富山村田製作所
- ・富山県庁

●事業所からの評価を紹介します。

- ・あいさつがしっかりできていました。
- ・指導されたことをしっかり理解し、まじめに作業に取り組んでいました。
- ・後半で集中力を保つのが、若干難しそうに見受けられましたので、自分で工夫して仕事のパフォーマンスを1日維持できるようにになれば、より効率的に作業できると思います。

<生徒の振り返り>

- ・今回の就業体験で、改めて報告・連絡・相談の大切さを実感しました。これからの学校生活で、コミュニケーションを上達させたり、報告・連絡・相談や確認を意識したりしながら頑張っていきたいと思っております。
- ・仕事を指示通りに正しく行うだけでなく、指示の意図を考えて仕事を進めることの大切さも学びました。今後の学校生活では、パソコンをもっと使えるように練習したいです。



第1回 キャリア教育・就労支援委員会

7月24日（水）に、富山公共職業安定所職業相談第三部門 主任就職促進指導官 蓑輪 千景様、富山障害者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー 谷井 誠様を外部講師としてお招きし、令和6年第1回キャリア教育・就労支援委員会を開催しました。貴重なお話を多く聞くことができ、とてもよい機会になりました。

その内容を一部紹介させていただきます。

(学校)	ハローワークにはどのような相談が多いですか。
(外部委員)	主に、人間関係の悩みが多いです。中には、担当者の変更や仕事が増えたことによる相談もあります。気を付けていることは、聞き取りの偏りが出ないようにすること、親や上司に相談しているかを確認しています。
(学校)	やり取りで気を付けていることは何かありますか。
(外部委員)	固定観念がある人が多く、まずは相手の話を最後まで聞くようにしてから伝えています。それに加えて、自分の言葉で、何ができて、何が苦手で、何を配慮してもらいたいのかを説明できるようになればいいと思います。配慮して欲しいことと、「・・・だったらできます」のようなことを併せて伝えることができるとなおよいと思います。
(学校)	小学部段階で、就労に向けて身に付けておきたいことは何かありますか。
(外部委員)	会社見学などで、「働くこと」へのイメージをもっておくことや、自分の強みや弱みを明確にし、自分の得意なことを生かせるようにしておくことです。また、保護者の方も障害を開示して働くことや、福祉サービスを利用すると何ができるようになるかを知っておくことが大切です。

第2回、キャリア教育・就労支援委員会を1月に予定しています。

夏の集い

8月5日に、本校に在籍している幼児児童及び教育相談を受けている幼児児童の保護者を対象に、本校で「夏の集い」が開催されました。

今回は、「企業が求める人材とは」というテーマで、進路指導主事からの講座がありました。「働いて困っていること」や「在学中に学んでおいたらよかったこと」など、本校卒業生に取ったアンケートの結果から聴覚障害者の就労における実際や、よくみられる課題とその対策について知ることができました。また、講話の動画は期間を決めて配信し、当日来られなかった方も視聴できるようにしました。

参加された保護者の感想を一部紹介します。

- ・就職や企業の話はまだ子どもが小さいから関係ないと思っていましたが、今回聞くことができよかったです。将来、不安なことは多いですが周囲に相談しながらサポートをしていきたいと思っております。（幼稚部）
- ・企業の求める人材については、今働いている大人や高校生にも通じることだと思えました。幼少期から取り組むべき具体的な活動例も多くありました。参考にさせていただきたいと思っております。（小学部）
- ・難聴児の子育ては不安がたくさんありましたが、少し明るい未来についての情報が聞けたことはとても嬉しかったです。日常でできることを少しずつ行っていきたいと思っております。（教育相談）

進路ワード

「就労移行支援」について

進路選択の一つに、障害福祉サービス事業所があります。卒業後すぐに企業に就労するのではなく、障害福祉サービスを利用し、力をつけてから企業就労を目指すことができます。また、企業就労した後に、様々な事情により離職した場合にも、障害福祉サービスを利用して再び企業就労を目指すこともできます。

今回は「就労移行支援」について紹介します。

内容や特徴	・企業就労を希望する人に（原則2年）就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行う。 ・訓練を目的としているため、基本的に賃金も工賃も支払われない。
県内の主な就労移行支援事業所	・就労移行支援 U-MATE 富山センター（富山市）（聴覚・知的・発達） ・ディーキャリア富山（富山市）（発達・精神） ・DX スクールカラフル富山（富山市）（聴覚・知的・発達）